

学校目標	高いプロ意識を持ち、お客様とのコミュニケーションを第一に、専門的な知識と技量の向上に努め、社会で自立し活躍する理容師・美容師を育成する。 (現場で評価され信頼される理容師・美容師を育成する)
生徒目標	・プロを目指し、プロとして振る舞い、プロになる ・お客様に喜ばれ、満足され、信頼されるステキな理容師・美容師となる
学校テーマ	キレイのプロはTORIBIで生まれる

評価項目	現状と課題	今年度の目標	目標達成のための方策	最終評価	評価
1 教育課程編成	○「理容師・美容師養成施設における養成課程の標準的なカリキュラム」(厚生労働省)に則った教育課程の編成を継続する。 ○選択必修科目には、トータルビューティを学ぶ授業を継続して開講するとともに、ビジネススキルの基礎となる「ビジネスマナー」の授業では、社会人としての教養や将来の専門分野に関する選択幅を拡げている。 ○国家試験の合格率が昨年度より大きく低下した。原因の分析と早急な対策が必要である。	○本校がめざす「トータルビューティ」について学生の理解を深めるとともに、魅力ある教育課程の編成に努める。 ○課題を分析し、対策に徹底して取り組み、国家試験の合格率100%をめざす。	○トータルビューティの考え方についてあらゆる機会を通じて説明に努める。 ○トータルビューティを充実させるための教科の在り方について研究し、実践する。 ○国家試験対策の中で、実技では衛生面の指導の徹底に課題があったこと、筆記では問題を繰り返し練習することに加え教科書の基礎理解を徹底させることが重要であることが明らかになった。実技指導ではチェックシートの作成と活用、筆記では授業改善に努める。	○理解が不十分な点があり、継続して取り組む必要がある。 ○トータルビューティを充実させるために、教科内容の精選、カリキュラムの見直しについて協議し改善するように努めた。 ○国家試験対策、実技指導ではチェックシートを作成し、活用を徹底することで授業改善に効果があった。	B
2 授業内容と研修	○国家試験対策の従来型の授業がまだまだ多く、学生の興味関心が薄れる場面が見られる。学習意欲の維持、向上に向けた取組が必要である。	○座学だけではなく実習においても学生が興味関心を持ち、主体的に学び、学習意欲を喚起するような授業をめざす。 ○外部講師にも協力を要請し、授業改善に取り組む。	○学生が主体的に企画、立案、活動し、発表できる大会、行事等を計画、取り組んでいく。 ○教員の授業力、指導力向上をめざし、他校の学校訪問を実施する。また、校内での研究授業、講師を招聘した研修会、職員研修を実施し、授業改善に努める。	○納涼祭、学校祭等、学生が主体的に活動できるよう企画・サポートし、実施することが出来た。 ○中国地区大会の担当校として準備、運営に関わり研修時間の確保は困難な状況の中で、県外への即戦力実践研修会参加、校内職員研修会1回実施し、授業改善の一助となった。	B
3 生徒募集と生徒支援	○新型コロナウイルス感染症が5類へ移行に伴い県外への進学者が増加、中でも理美容系専門学校を目指す県内高校生の7割が県外へ進学している。 ○入学時の基礎学力や学習意欲に学生個々の差が大きい。 ○学生の多様化、特別な配慮、支援を必要とする学生が増えてきている。	○理美容系をめざす学生が一人でも多く、本校へ志望するよう情報発信と、学校の魅力アップに努める。 ○一人ひとりの学生を大切に、目標達成に向けて教職員がチームとなって指導支援に努める。	○オープンキャンパスの回数を増やし、従来型に加え納涼祭、文化祭等、体験内容を工夫して開催する。また、HP、SNS等はもちろん、しゃんしゃん祭りへの参加を通じ、魅力ある取組を情報発信、学生募集に取り組む。 ○支援が必要な学生に関する研修会を実施する。 ○日常の会話、面談等を通じて個々の学生の状況把握に努め、早期の対応に務める。	○納涼祭の実施、しゃんしゃん祭りへの参加と新たな行事に学生が主体となって取り組み、情報発信と新たな魅力作りに繋がった。 ○進路指導も含め、支援が必要な学生について、進路説明会、面談等早期の対応に努めることで、進路変更をする学生が昨年と比較して減少した。	A
4 教育環境の整備	○建物、施設・設備は老朽化が始まり、計画的な修理、更新を行う。 ○校舎内の環境は、日々の掃除が不十分で清潔感に欠ける。 ○購入物品が多く、物があふれている。 ○用具の整理整頓、効率的な活用を図る必要がある。	○学習環境の整備、必要な修繕等に出来るだけすみやかに対応する。 ○備品、購入物品、校内の清掃等を含め整理、整頓、清掃、清潔に努め、それを維持するように取り組む。	○修理、取替が必要な箇所については計画的に修繕、取替を実施することが出来た。耐震診断については今後の課題である。 ○校内の清掃活動について清掃が不十分な箇所も有り、取組に課題があった。清掃活動の徹底に努める。 ○玄関を中心に学生作品の展示、掲示物の工夫をする。	○学習環境、施設設備の老朽化に伴う整備については引き続き検討課題である。 ○古い物品の処理、処分を行い、倉庫内の整理・整頓を実施できた。 ○物品購入の伺い書を作成、共通理解と円滑な支出入を進める一助となった。 ○清掃活動の徹底がまだまだ課題である。	B
5 学校運営全般	○理事、教職員、学生が共に教育目標に対する方向性を揃え、風通しの良い組織の構築を一層進める。 ○新たな教職員体制となり、資質の向上、校務運営に必要な知識の習得、ICTを活用した業務改善の取り組みが必要である。 ○新型コロナウイルス感染症だけではなくインフルエンザに感染する学生もあり、引き続き感染防止対策を実施していく必要がある。	○情報の共有化を図り円滑な校務運営に努める。 ○教職員の校務に必要な知識の習得、業務改善に向け、研修会を実施するなど資質向上に取り組む。 ○新型コロナウイルス感染防止及びインフルエンザ感染防止にむけ基本的な対策を維持、継続する。	○教職員の待遇改善を行い、意欲向上に努める。 ○教職員が将来ビジョンについて共通理解を図り、資質向上をめざした研修会を計画、実施していく。 ○基本的な感染防止対策の実施と、関係機関と連携して取り組んでいく。	○関係機関との連携し、サービスの抜本的な見直しを実施、ICT導入を含め業務改善を進めることができた。 ○感染防止の基本的な対策を維持、継続、県内の状況を周知、注意喚起に努めた。感染者は昨年と比べ大幅に減少している。	B

A:概ね目標を達成 B:目標を達成している部分、不十分な部分ともある C:目標達成が概ね不十分 D:目標未達成